



金賞

Bluetooth  
完全ワイヤレス  
イヤホン/  
ノイズキャンセリング  
(2.5万円以上3万円未満)



金賞

Bluetooth  
完全ワイヤレス  
イヤホン/  
ノイズキャンセリング  
(2.5万円以上3万円未満)



ノイズキャンセリング完全ワイヤレスイヤホン

# TECHNICS EAH-AZ60

¥OPEN

SPEC ●通信方式: Bluetooth 5.2 ●対応コーデック: SBC、AAC、LDAC ●ドライバー口径: 8mm ●連続再生時間: 7時間(ケース込み24時間) ※NC ON時/AAC ●重量: 約7g ●付属品: イヤーチップ (XS1/XS2/S1/S2/M/L/XL)、充電ケーブル

新たにマルチポイントに対応

# 王位は揺るがず! アワード連続金賞

技術革新が続く「完全ワイヤレスイヤホン」の審査カテゴリーにおいて連続金賞を勝ち取った「色褪せない名機」。それがテクニクス「EAH-AZ60」だ。音質、ノイキャン、通話、それぞれを独自技術で磨き上げた傑作。今年、アップデートで「マルチポイント」にも新たに対応し、死角なしの完成度を誇る。

文/高橋 敦  
Atsushi Takahashi

## テクニクス独自技術が詰まった傑作イヤホン

パナソニックが展開するハイエンドブランド、テクニクスから昨秋に発売された完全ワイレス「EAH-AZ60」。VGP2022部門金賞を受賞し、翌シーズンのVGP2022 SUMMERでも連続金賞を獲得した。

登場時からノイズキャンセリングや通話も含めたトータル性能がトップクラスであったことはもちろん、登場後のアップデートによる機能の強化や追加の充実も連続受賞の決め手となった。進化が速い完全ワイヤレス分野では、発売後のファームウェアアップデートの手厚さや的確さも製品やメーカーの評価ポイントとなる。「外音取り込みの聞こえ方をより自然に」「音量調節をより滑らかに」「高音質通話技術の性能をさらに強化」などアップデートの頻度や内容も、連続受賞という評価につながったわけだ。

特に大きかったのは「マルチポイント機能が使用可能になった」こと。マルチポイントとは、イヤホンをスマホとPCなどに2台同時接続し、両者との接続をよりスムーズかつほぼ自動で切り替えてくれる機能。完全ワイヤレスを自宅でも外出時でも活用しまくるには必須と見做されつつある機能であり、対応製品も増加中だ。しかしマルチポイント対応でもLDAC接続時には利用不能な機種が多く、ハイエンドユーザーはそこを残念がっていたのだが、本機はアップデートでその弱みを克服！スマホ等のLDAC設定を「接続優先」にする準備をしておけば、「スマホとLDAC接続&PCとSBC接続」などのマルチポイントが可能となる。ハイレゾサブスクユーザーなら特に、これが決め手となっているAZ60を選ぶパターンもありだろう。

そこで改めてAZ60の魅力を復習しておこう。ドライバーはバイオセルローズ振動板を採用した8mm径ダイナミック型。その後方に設置の「アコースティックコントロールチャンバー」が中音域を適切に整え、低

音域の伸びも引き出す。対して前方の設置の「ハーモナイザー」は高音域の凹凸を抑えて自然な高音再生を実現する。

内／外マイクとデジタル／アナログ制御を組み合わせた「デュアルハイブリッド」方式の消音効果は、数あるノイキャンの中でも優秀。アンビエントモードの動作を、外音を取り込みつつ音楽も楽しめる「トランスペアレント」と音楽を停止して周囲の人の声を強調して取り込む「アテンション」から選べるのも気が利いている。

通話音声処理技術「JustMyVoice™」もこのモデルの強みだ。ビームフォーミング、音声解析、風切り音抑制を組み合わせ、ユーザーの声と周囲の騒音を切り分け、ユーザーの声のみを相手に届けてくれる。

音楽再生のサウンドクオリティについても、言うまでもなく最高レベル。ボーカルや楽器をやや大柄に、確かな存在感でくっきりと描き出しつつ、それぞれを邪魔し合うような余計な重なりは生み出さない。特にクラブ系サウンドの楽曲では、ボリューム感満点の中低域でベースやバスドラムの音圧と響きを鼓膜にたっぷりプッシュしてくれて大満足。音楽をもっとBGM的に聴きたい場面では、アプリのイコライザーで低音側を少し削ってベースやバスドラムの押し出しをやわらげるのもおすすめだ。そもそも中低域の充実があってこそ、こういった「引き算のチューニング」も効果的。高音域は鋭くではなく滑らかに伸びる印象。自室など電波が安定した環境でのLDAC接続では、ジャキッと濁点の付くシャープさではなく、シュッとシルキーな伸びやかさという持ち味がさらに際立つ。

LDAC接続時のサウンドクオリティを改めて確認し、その利用時にもマルチポイントを利用可能となったことの意義も改めて実感した。充実アップデートでその魅力を完成させたAZ60に今こそ注目だ。

### 連続金賞に輝く3つの理由



#### ①とにかく音がいい!

バイオセルローズ振動板を搭載。そのポテンシャルを引き出す独自音響構造も特徴だ。ドライバー後方スペースには主に中域のゆみや低域の伸びの改善に効く「アコースティックコントロールチャンバー」を、前方には主に高域の伸びを改善する「ハーモナイザー」を設けて、声や楽器の自然な音色とエネルギー感を両立させている。



#### ②ノイキャン最高峰!

緻密なデジタル制御を実現する「フィードフォワード×デジタル方式」と、遅延のない処理を実現する「フィードバック×アナログ方式」を併用する、独自の「デュアルハイブリッドノイズキャンセリング」。特に電車や飛行機の低音域のノイズがスッと消える様は圧巻。パッシブの遮音性も高く「静けさ」は業界最高峰。



#### ③クリアな通話品質!

周囲のノイズを徹底的にカットして、自分の声だけをクリアに相手に届ける、独自の「JustMyVoice™」を搭載。声とそれ以外の音を区別してノイズを低減する「ビームフォーミング」、声の帯域を特定する「音声解析」、そして独自構造とマイク2基で風切り音を検知／低減する「風切り音対策」の3つによって構成されている。

### LINEUP 小耳サイズの兄弟機

ノイキャン機能こそ非搭載ながら、独自の音響構造によって小耳サイズで高音質を実現、「JustMyVoice™」による通話品質にも定評がある実力機。こちらもアップデートでマルチポイント接続に対応したので、改めて注目してほしいイヤホンだ。

完全ワイヤレスイヤホン

**EAH-AZ40** ¥OPEN

SPEC ●通信方式: Bluetooth 5.2 ●対応コーデック: SBC, AAC ●ドライバー口径: 6mm ●連続再生時間: 7.5時間(ケース込み25時間) ※ AAC ●重量: 約5g ●付属品: イヤーチップ (XS/S/M/L)、充電ケーブル

